

令和7年度

横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

学校推薦型選抜入学試験(Ⅱ期)
総合型選抜入学試験(Ⅲ期)

基礎総合

令和6年12月14日(土)

(注意事項)

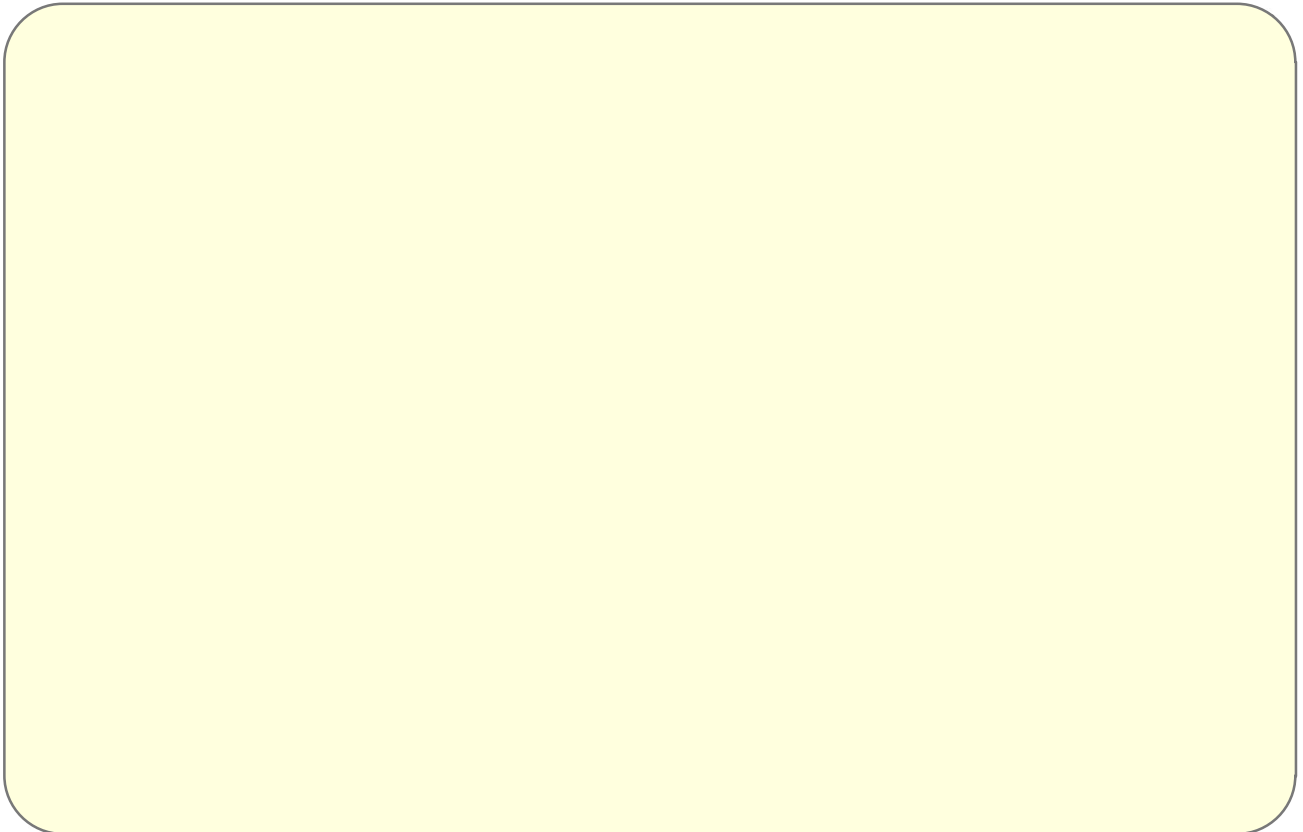
1. 「始め」の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1ページから6ページまであります。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答にはHB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用してください。
5. 試験開始後は退室できません。

問題Ⅰ

設問 次の各問いに答えなさい。

1. 次の問題文を読んで、下の各問いに答えなさい。

【問題文】



(文藝春秋2002年9月臨時増刊号 齋藤孝「美しい日本語の条件」から)
(一部表記を改めたところがある)

(1) 下線 a～h のカタカナは漢字で、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。

(2) 問題文の主旨として最も適するものを、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 名文は、意識を表現する言葉を探す努力をし、必然性をもって連なっている。
- ② 言葉を探すもどかしさで見つけた後のすっきり感が言葉とのつきあいのおもしろさだ。
- ③ 感覚にぴったりした言葉を探し出す努力がなされた名文には、味わいのある美しさがある。
- ④ 感覚と言葉のズレを意識する緊張感が精神の張りとなって読む者の精神に伝わる。
- ⑤ 本当の名文は、声を出して読むと噛めば噛むほど味の出るスルメのような言葉だ。

2. 次のア～オの慣用句や熟語とその意味の組み合わせのうち意味が誤っているものが二つある。誤っている記号の組み合わせを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

ア 生簀 いけす の鯉	新たな住処を得て澁瀬 はつらつ とした様子
イ 一期一会	一生に一度限りであること
ウ 四面楚歌	周囲がみな敵や反対者ばかりであること
エ 怪我の功名	失敗をしたことで有名になること
オ 闇夜の鉄砲	当たらないこと、目当てのつかないこと

- ① ア、ウ
- ② ア、エ
- ③ イ、ウ
- ④ イ、オ
- ⑤ エ、オ

3. 次のア～オの各文を意味の通じるように並べ替えたものとして最も適するものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

ア
イ
ウ
エ
オ

(曾野綾子「人間にとって成熟とは何か」から。)

- ① ア → オ → ウ → エ → イ
- ② イ → ア → エ → オ → ウ
- ③ ウ → エ → ア → オ → イ
- ④ エ → イ → オ → ウ → ア
- ⑤ オ → ア → エ → イ → ウ

問題Ⅱ

設問 次の各問いに答えなさい。

1. 一定の規則に従って並んでいる次の数列の第50項の値を第12項の値で除したときの商を、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

(数列) 5, 8, 11, 14, 17, …

- ① 2
- ② 3
- ③ 4
- ④ 5
- ⑤ 6

2. 濃度5.0%の食塩水600gに水を加えて、濃度2.4%の食塩水をつくりたい。加える水の量を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 250g
- ② 350g
- ③ 450g
- ④ 550g
- ⑤ 650g

3. 1分間に2.4mLが滴下する輸液セットを使用して300mLの薬液を静脈内注射により投与するよう医師から指示があった。午前9時20分に投与を開始したとき終了する時刻を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 午前10時55分
- ② 午前11時10分
- ③ 午前11時25分
- ④ 午前11時40分
- ⑤ 午前11時55分

4. 6チームでサッカーの試合をする。まず、全チームが2回戦制のリーグ戦により上位4チームを決定し、次に、上位4チームによるトーナメント戦で優勝チームを決定する。優勝チームが決まるまでの試合数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。なお、2回戦制のリーグ戦で必ず上位4チームが決定するものとする。

- ① 24試合
- ② 27試合
- ③ 30試合
- ④ 33試合
- ⑤ 36試合

5. 修学旅行先を決めるため参加者576人全員にアンケート調査を実施した。Aコース、Bコース、Cコースのうち必ず一つのコースを選ぶこととし、全員が回答した結果、Cコースを選んだ人数はBコースを選んだ人数の2倍で、Aコースを選んだ人数の40%だった。Aコースを選んだ人数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 320人
- ② 340人
- ③ 360人
- ④ 380人
- ⑤ 400人

問題Ⅲ

設問 次の問題文及び表1、表2は、厚生労働省の「令和5年（2023）人口動態統計月報年計（概数）の概況」から作成したものである。問題文及び表1、表2を見て、あとの各問いに答えなさい。

【問題文】

日本の人口は平成20年の1億2,808万人をピークに減少に転じ、平成22年から13年連続で減少しています。これは死亡率が 率を上回る自然減少が続いており、減少幅は年々拡大しています。

日本の人口が減少している理由は少子化が考えられます。少子化の主な原因としては、未婚化や晩婚化の進行、若者の結婚及び出産に関する意識の変化、育児に対する経済的負担、女性の社会進出と保育園等育児環境の問題など多岐にわたっており、わが国の大きな課題となっています。

令和5年の統計を前年と比較した場合、死亡率が ポイント増加し、自然増減率が ポイント減少しています。

また、一人の女性が一生の間に産む子供の数に相当する 率が令和5年に1.20と過去最低となり、少子化がさらに進む深刻な事態がうかがえます。

【表1】令和5年人口動態総覧（抜粋）

	実数（人、組）				率（注）		平均発生間隔			
	令和5年 (2023) 概数	令和4年 (2022) 確定数	対前年増減		令和5年 (2023) 概数	令和4年 (2022) 確定数	令和5年 (2023) 概数	令和4年 (2022) 確定数	令和5年 (2023) 概数	令和4年 (2022) 確定数
			増減数	増減率（％）						
出 生	727,277	770,759	△ 43,482	△ 5.6	6.0	6.3	分	秒	分	秒
死 亡	1,575,936	1,569,050	6,886	0.4	13.0	12.9		20		20
自然増減	△ 848,659	△ 798,291	△ 50,368	…	△ 7.0	△ 6.5		…		…
婚 姻	474,717	504,930	△ 30,213	△ 6.0	3.9	4.1	1	6	1	2
離 婚	183,808	179,099	4,709	2.6	1.52	1.47	2	52	2	56
合計特殊出生率	1.20	1.26								

（注）出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対である。

【表 2】人口動態総覧の年次推移（抜粋）

年 次	出生率	死亡率	自然増減率
	(人口千対)		
2014（平成26）年	8.0	10.1	△ 2.1
2015（平成27）年	8.0	10.3	△ 2.3
2016（平成28）年	7.8	10.5	△ 2.6
2017（平成29）年	7.6	10.8	△ 3.2
2018（平成30）年	7.4	11.0	△ 3.6
2019（令和元）年	7.0	11.2	△ 4.2
2020（令和2）年	6.8	11.1	△ 4.3
2021（令和3）年	6.6	11.7	△ 5.1
2022（令和4）年	6.3	12.9	△ 6.5
2023（令和5）年	6.0	13.0	△ 7.0

1. 問題文中の ア ～ エ にあてはまる語句または数値として最も適したものを、次の語群 A ～ H から選び記号で答えなさい。なお、同じ記号を何度でも使用することができます。

＜語群＞ A. 合計特殊出生 E. 0.1
 B. 婚姻 F. 0.3
 C. 自然増減 G. 0.5
 D. 出生 H. 0.7

2. 次の（ア）～（オ）の文について、問題文及び表 1、表 2 から読み取れる内容や考えと一致しているものを、すべて選び記号で答えなさい。

（ア）令和 5 年は前年に比べ、婚姻率は 0.2 ポイント増加し、離婚率は 0.5 ポイント減少した。
 （イ）出生率は令和 5 年と平成 26 年を比較すると 2.0 ポイント減少した。
 （ウ）令和 5 年には約 43 秒に一人が生まれ、約 1 分 6 秒に一組が結婚した。
 （エ）わが国の人口減少の原因の一つとして、婚姻率の低下があげられる。
 （オ）少子化対策の一つとして、安心して子育てをしながら働ける環境の改善が必要である。

（基礎総合 おわり）

学校推薦型選抜入学試験（Ⅱ期）

総合型選抜入学試験（Ⅲ期）

基礎総合解答用紙

受 験 番 号					
6	0				

氏 名

--

問題Ⅰ	1	(1)	a		b		c		
			d		e		f		
			g		h		き		
		(2)							
問題Ⅱ	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
問題Ⅲ	1	ア		イ		ウ		エ	
	2								

小 計

小 計

小 計

合 計	
-----	--

令和7年度 横浜創英大学〔看護学部 看護学科〕

学校推薦型選抜入学試験(Ⅱ期)・総合型選抜入学試験(Ⅲ期)

基礎総合解答例

問題Ⅰ	1	a	漠 然		b	あいまい		c	微 妙				
		(1)	d	ご い		e	肝 心 (肝 腎)		f	ほうやく			
		g	ぎきよく		h	飽 き							
	(2)	③											
	2	②											
3	④												
問題Ⅱ	1	③											
	2	⑤											
	3	③											
	4	④											
	5	③											
問題Ⅲ	1	ア	D		イ	E		ウ	G		エ	A	
	2	(イ)、(ウ)、(エ)、(オ)											